

いなづま



二十間坂に二十九台の高所作業車が集結したイルミネーション取付工事（平成二十六年十一月九日）

ご挨拶

理事長 伊東 研一

平成二十七年、羊年の新年もあけて三か月が過ぎようとしています。

今年の冬（十二月～二月）は全道的に暖冬でした。特に二月の平均気温は平年比二・三度上まわり、函館地方の二月の真冬日は二日（平年八・九日）で一日の最低気温が氷点下十度を下回ったことはなかったそうです。

三月三日に庭の雪の消えた黒土に目をやると、もう水仙の葉先が並んで挨拶をしていました。今年の春は早そうです。

北海道新幹線が開業するまであと一年になりました。大きな製造業や産業がないこの地域にとりまして観光産業は重要な産業だと思われれます。外国人の来道も増加傾向ですので、新幹線効果を最大限に発揮して来年にむけてさらに景気が上昇することを念願しています。

国の電力改革のデザインの全体像はまだ見えませんが、来年からの電力小売りの全面自由化など少しずつですが着々と進んでいる感じがしています。今年四月からは次世代電力計スマートメーターの導入による、取り付け、取り替え工事がスタートします。組合の大きな怠慢であったとも考えられますが、過去十六年間で一度も見直されることのなかった、低価格の引込線、計測器工量、さらに昨年引き下げられた工量のままでスタートすることになり、組合員の皆様には大変ご負担をかけますが、ご協力をよろしく願います。

先月札幌において北海道電気工事業工業組合青年部連合会の事業になります全道青年部会員大会が開催されました。札幌市内の工業高校三校の生徒との意見交換が主な内容の大会でしたが、お互い少し理解が深まったようです。時間は係りますが若い技術者の育成が組合や業界の喫緊の課題ですので色々な幅広い手法で取り組む必要性を感じます。函館地方電気工事協同組合に於きましても工業高等学校、高等技術専門学院、ポリテクセンター等との連携や来年に開催予定の電気工

事技能競技大会への参加などを通じて技術者、技能者の育成に努めて行くことになると思います。
昨年はこの管内におきましては労災事故の発生はありませんでしたが、単純なミスや違反工事は数件散見されています。組合員の皆様には基本を守り、労働災害の防止と電気工事の品質の向上を目指し、各個人のクオリティが一層高まることを期待します。
また組合のあり方としては定款に定められた、第一条に掲げております組合員の経済的地位の向上を図ることを目的として、役員一同が協力し、矜持を持って運営することを切に願っています。

役員会だより

第五回役員会

二六・一〇・九

一、慶弔報告

- 函館拓北電業(株)代表者ご令室逝去
(有)平和電気商会代表者ご母堂逝去
(有)南電設代表者ご令室逝去
(株)大原電気工業代表者ご母堂逝去

二、貸付報告

一社五〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 組合員の異動について
(2) 平成二六年度年末特別融資の募集結果について
(3) 「いなづま」第一三六号の発行について
(4) 平成二六年度中間決算について
(5) 移動役員会及び役員・事業運営委員の懇親会について
(6) 平成二五年度住友団体共済配当金の還付について
(7) 組合新年会・永年組合員・永年勤続者表彰式について
五、事業委員会事項
(1) 港まつり決算報告について
(2) 第一種電気工事士試験（筆記）準備講習会の

- (3) 開催結果について
(4) ロードヒーティング保守管理業務委託について
(5) イルミネーション取付工事の実施について
(6) 北電・組合連絡協議会の開催について
(7) 第一種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催について
六、その他
(1) 第一種電気工事士定期講習会の開催について

第六回役員会

二六・一一・二六

一、慶弔報告

無し

二、貸付報告

一社五〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 組合員の異動について
(2) 監事の退任について
(3) 中間監査の実施結果について
(4) 事務局職員の年末賞与の支給について
五、事業委員会事項
(1) 北電函館支店・電気工事組合連絡協議会の開催結果について
(2) ロードヒーティング保守管理業務委託について
(3) イルミネーション取付工事の実施結果について

第七回役員会

二七・二・一七

一、慶弔報告

- (株)谷電気工業所代表者ご尊父逝去
(有)ヤマト電気工業所代表者逝去

二、貸付報告

二社八〇万円

三、各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項

- (1) 組合員の異動について

- (2) 永年組合員・永年勤続者表彰式及び平成二七
年新年会の開催結果について
(3) 主任電気工事研修会の開催結果について
(4) 「いなづま」第一三七号の発行について
五、事業委員会事項
(1) 検満安全パトロールの実施結果について
(2) 内線工事会社研修会の開催について
(3) イルミネーション撤去工事について
(4) 提案型技術営業研修会の開催について
(5) 引込線工事士認定講習・認定試験の実施について

組合行事

9月18日 第一種電気工事士（筆記）講習会講師打

合せ

26日 正・副理事長・事務局長打合せ

30日 第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講

習会（組合会議室Ⅱ十八名受講）

10月3日 検満業者打合せ会議

6日 総務委員会・事業委員会

9日 第五回役員会

全日 検満業者打合せ会議

15日 道工業組合事務局長会議に奥村事務局長出

席（道電気会館）

16日 中間監査

24日 北電・組合連絡協議会（組合会議室Ⅱ北電

28日 四名、組合八名出席）

29日 北電・組合合同箱・板修繕工事安全パト

ロール（北電五名・組合六名）

30日 スマートメーター導入に向けたTV説明会

（北電函館支店四階会議室・二三社二六名

出席）

31日 スマートメーター導入に向けたTV説明会

（北電函館支店四階会議室・二〇社二一名

出席）

11月4日 検満業者打合せ会議

4日 イルミネーション取付工事（八幡坂・二十

20日	間坂・明治館前通・元町公園・開港通
6日	道工業組合中間監査に玉津副理事長出席 (道電気会館)
全日	スマートメーター導入に向けたTV説明会 (北電函館支店四階会議室・一三社一三名出席)
全日	第一種電気工事士定期講習会(ロワジールホテル函館)
10日	八雲支部ブロック例会
12日	第五回道工業組合理事会に伊東理事長・玉津副理事長出席(道電気会館)
全日	第一回道電気工事技能全国大会壮行式に伊東理事長・玉津副理事長出席(道電気会館)
15日	江差支部会議
17日	正・副理事長・事務局長打合せ
全日	福島支部会議
19日	事業委員会
20日	総務委員会
25日	イギリス領事館前クリスマスツリー点灯式に伊東理事長・奥村事務局長・伊藤主任出席
26日	第六回役員会・懇親会(花びしホテル)
全日	北電・組合個人情報に関する意見交換会 (組合会議室)
29日	第一回道電気工事技能競技全国大会(東京都両国国技館・一〇名参加)
12月1日	検満業者打合せ会議
4日	第一種電気工事士試験(技能)受験準備講習会(組合会議室・十七名受講)
5日	東部支部会議
4日	第三回北電・工業組合本部連絡協議会に伊東理事長出席(道電気会館)
11日	街路灯連絡協議会
20日	北部支部会議・懇親会(花鳥風月)
24日	北電・組合連絡協議会(組合会議室・北電四名、組合七名出席)
25日	検満業者打合せ会議
1月7日	正・副理事長・事務局長打合せ
9日	電気協会賀詞交歓会に伊東理事長、玉津副

15日	理事長出席(札幌グランドホテル)
16日	八雲支部安全祈願祭・新年会 検満業者打合せ会議
20日	第六回道工業組合理事会に伊東理事長・玉津副理事長出席(道電気会館)
23日	平成二六年度永年組合員・永年勤続者表彰式・平成二七新年会(花びしホテル一四七名出席)
26日	商工懇話会通常総会・新年会に奥村事務局長出席(花びしホテル)
27日	北電・ほくでんサービス・組合検満工事合同安全パトロール(北電五名・ほくでんサービス一名・組合六名)
2月3日	検満業者打合せ会議
5日	八雲支部ブロック総会
6日	主任電気工事士研修会(ロワジールホテル・一六八名出席)
7日	東部支部新年会(花びしホテル)
10日	事業委員会
全日	西部支部会議・新年会(旬花)
13日	中央会研修会に奥村事務局長出席(ホテル函館ロイヤル)
14日	江差支部新年会(花びしホテル)
17日	総務委員会・事業委員会
全日	第五回役員会
20日	内線工事会社研修会(組合三階会議室・一二九名)
21日	電気工業業界理解促進研修会に伊東理事長出席(東京ドームホテル札幌)
25日	道立函館高等技術専門学院職業能力開発運営協議会に奥村事務局長出席(函館高等技術専門学院会議室)
27日	渡島総合振興局による電気工業法立入検査(組合員七名)
28日	渡島支部新年会(しおさい亭)
全日	福島支部新年会(花びしホテル)
3月2日	検満業者打合せ会議
4日	総務委員会
全日	いなづま編集会議

全日	東部支部会議
6日	提案型技術営業研修会(組合会議室・四四名)
全日	函館高等技術専門学院監査(組合会議室)
10日	渡島総合振興局による電気工業法立入検査(組合員五名)
12日	道工業組合事務局長会議・青年部合同研修会に奥村事務局長出席(道電気会館)
13日	渡島総合振興局による電気工業法立入検査(組合員六名)
16日	イルミネーション撤去工事(八幡坂・二十間坂・明治館前通・元町公園・開港通)
18日	引込線工事士認定講習・認定試験(組合会議室・二十六名受講十五名受験)
19日	総務委員会
24日	渡島総合振興局による電気工業法立入検査(組合員五名)
27日	渡島総合振興局による電気工業法立入検査(組合員四名)
30日	臨時役員会

■今月の表紙について

イルミネーション取付工事

平成九年、当組合創立五十周年記念事業として施工して以来、函館冬フェスティバル事業の一環として、市民や観光客に好評を博し、現在まで継続事業として行われているイルミネーション工事業は、北海道電気工事(株)函館支店様とその協力会社の皆様のご協力により、平成二十六年度は大幅に工期を短縮し取付工事を終了することができました。

ご協力いただいた平成二十六年十一月九日は、高所作業車が二十九台で施工する二十間坂の風景がまさに圧巻で、この度本誌の表紙に使用させていただきました。

今年度ご協力いただいた、組合員の皆様、北海道電気工事(株)函館支店様並びに協力会社の皆様には誌上を借り、改めて厚く御礼申し上げます。

平成 二十六年度 永年組合員 永年勤続者
平成 二十七年 新表 年彰 会式

平成二十六年度永年組合員・永年勤続者表彰式と平成二十七年年度組合新年会が一月二十三日（金）、花びしホテルにおいて、衆議院議員前田一男様、衆議院議員逢坂誠二様、函館市長工藤壽樹様、北海道電力㈱函館支店理事支店長今野満様、他来賓三十四名を迎え、受賞者・組合員・青年部員総勢百四十七名出席し、盛大に開催された。

開会に先立ち、昨年逝去された物故者に黙祷を捧げた後、挨拶に立った伊東理事長は「工事量の増加とともに、技術者の高齢化と若手技術者の不足を感じた。電気工事技能競技全国大会を通じた技術の水準の向上、教育機関との連携による若手技術者の確保と育成に努める」と述べた。

永年組合員・永年勤続者表彰式では、永年組合員に、組合加入六十年で(有)八雲電業社、(有)後藤電機商会、同三十年で(有)奥電機工事、協同電気通信㈱、(有)松橋電気が受賞。永年勤続者は、勤続三十年以上で二名、二十五年以上で三名、二十年以上で一名、十五年以上で五名、十年以上で四名、総勢十三社二十名が伊東理事長より表彰状と記念品が贈呈された。

受賞者を代表してタマツ電機工業㈱中濱孝一郎氏が「今回の受賞は事業主や先輩のおかげ



げ。初心に帰り一層職務に励みます」と謝辞を述べた。

来賓の挨拶では、衆議院議員前田一男様、衆議院議員逢坂誠二様、函館市長工藤壽樹様、北海道電力㈱理事函館支店長今野満様より、心温まるお祝いの言葉や業界に対する励

ましのお言葉をいただいた。引き続きの新年懇親会では、函館市議会議員井田

範行様の祝杯のあと祝宴となった。

余興には楽器の演奏と女性の美しい声かな空気に包まれ、参加者の懇親を大いに盛り上げた。

和やかに懇親会が進行する中、当組合玉津副理事長が感謝と御礼を述べて乾杯し、盛会の裡に無事終了した。



平成二十六年度永年組合員・永年勤続者表彰者名簿（敬称略）

(永年組合員)		事業所名	
組合加入 60 年	二 社	(有)八雲電業社	(有)後藤電機商会
組合加入 30 年	四 社	(有)奥電機工事	協同電気通信㈱
(有)松橋電気			
(永年勤続者)		事業所名	
事業所名	氏 名	事業所名	氏 名
勤続 30 年以上	二 名	樺電工業㈱	佐藤 幸雄
タマツ電機工業㈱	加藤 幸雄		
勤続 25 年以上	三 名	樺電工業㈱	山岸 徳英
タマツ電機工業㈱	中濱 孝一郎		
(有)高橋電工	石塚 雄士		
勤続 20 年以上	一 名	ユタカ電機㈱	加藤 研治
ユタカ電機			
勤続 15 年以上	五 名	樺原電気工業㈱	中山 知丈
樺電工業㈱	大川 原隆		
ユタカ電機㈱	秋田 信宏		
ユタカ電機	張磨 昭彦		
(有)手塚電気	土門 健		
勤続 10 年以上	四 名	(有)高橋電工	竹田 邦浩
(有)中電設工事	久末 誠		
(有)平井電気	渡邊 清市		
函館地方電気工事協同組合	百井 尚子		

2015年

はこだて冬フェスティバル イルミネーション

今年も元町方面の坂道を照らした、はこだて冬フェスティバル・イルミネーションが二月末日をもって終了いたしました。寒い中、協力してくださいました、組合員や社員の皆様には誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

この事業は、当組合創立五十周年の記念事業として八幡坂にイルミネーションを敷設したのがはじまりで、今年が十八回目となります。

今年度は従来施工していた、二十間坂、八幡坂、明治館前通、元町公園、イギリス領事館前クリスマスツリーに加え、函館朝市から国際ホテル、ベイエリアへと続く約一・五kmの市道が『開港通』と命名されここに施設された街路灯二十五基にも雪の結晶のイルミネーションを施しました。

取付工事は十一月四日から延べ九日間に亘って行われ、十一月九日は休日にもかかわらず北海電気工事(株)函館支店・北海電気工事関連会社・内線工事会社十一社三十四名高所作業車二十九台と多くのご協力を頂き、大幅に作業を進めることが出来ました。過去三年



は工事量の増加に伴い、組合員の皆様も多忙を極めておりましたので、取付工事に二週間程度要しておりますが、今年度は九日間で完成させることができ、ご協力いただいた組合員、従業員の皆様には改めまして感謝申し上げます。

また、当組合にて施工している前述の箇所に加え、今年度から函館駅前公園にもイルミネーションが施され、施設された導線に沿って新たな函館の冬の観光名物となることを期待しております。

また撤去工事については積雪の状況を検討し三月中旬に実施いたしました。

寒い中行われる工事のため、組合員や従業員の皆様には大変ご苦勞をおかけしますが、函館の冬の観光の一助となるべく今後ともご協力くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。



提案型技術営業研修会

平成二十七年三月六日組合会議室において、提案型技術営業研修会が開催され、組合員三十八名、青年部員六名が受講しました。

平成二十八年に電力自由化となつて以降は、各家庭でも電力会社を自由に選択することが可能となります。今後、多様な電力エネルギーの活用や家庭・事業所において一層の省エネルギーが求められるなか、省エネ分野への進出とその需要を喚起するため、本研修会を開催することとしました。

研修会では、パナソニック(株)エコソリューションズ社HEMS担当の東野遼一様より、第一部HEMSを軸にした新たな需要創出取組みの提案、第二部移動型HEMSパネル展示による体験学習について講義いただき、第三部は北海道電力(株)函館支店配電グループ総括主任加藤政司様よりHEMS設置に伴うスマートメーターBルート対応について講義いただきました。HEMSは

新たな需要を掘り起こすこともあり、またそれと対応し四月から導入されるスマートメーターの研修ということで、受講者は、各講義とも熱心に聞き入っております。

業務ご多忙のおり、講師を務めてくださいました皆様には厚く御礼申し上げます。



第一種電気工事士試験 受験準備講習会

平成二十六年年度の第一種電気工事士試験は、筆記試験が十月五日、技能試験が十二月七日に実施されました。

当組合ではこれに先立ち、恒例の受験準備講習会を左記の通り筆記試験講習を四日間、技能試験講習を二日間開催しました。

◎筆記試験講習 日程＆講師

九月三十日～十月三日（九時～十七時）

三十日(火)	一日(水)	二日(木)	三日(金)
午前 電気理論 (奥山)	電気機器・材料 応用 (中田)	電気工事の 施工法 (酒井)	配線図 制御回路 (中田)
午後 配電理論 配電施設 (酒井)	発電送配電 変電所の施設 (酒井)	検査方法 保安に関する法令 (中田)	施工方法等・鑑別 模擬試験・その他 (酒井)

◎技能試験講習 日程＆講師

十二月四日～十二月五日（九時～十七時）

四日(木)	五日(金)
午前 単位作業（講師対馬・大谷・伊東・酒井・吉田）	
午後 単位作業（講師対馬・大谷・伊東・酒井）	

受講者は筆記十八名、技能名で、国家試験の結果、合格率は筆記四十四・四％（全国平均四十二・九％）、技能七十・六％（全国平均五十八・一％）でした。
講師の皆様には大変ご多用のところご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

講師各位

対馬豊四郎氏（株対馬電設）
吉田 好氏（株谷電気工業所）
大谷 治身氏（株平松電気工務所）
伊東 照勝氏（有丸伊イトウ電気商会）

酒井 好一氏（三立電気株）
中田 進氏
奥山 正雄氏（社北海道電気管理技術者協会）



内線工事会社研修会

平成二十六年年度内線工事会社研修会が二月二十日、組合会議室において午前・午後の二回実施され、合計二九名が出席、受講しました。

当研修会は、当組合が北電函館支店に要請し、直轄管内の電気工事主任者または事務系を除く施工責任者を対象に毎年実施しているもので、北電のお客さまセンター・配電グループを中心とした各担当者より、電設関係書類記載の際の留意事項や新工法の周知、しゅん工調査における不適合事例や留意点、施工不良事故事例、労働災害事故事例等について周知す



ることを目的として例年この時期に開催されます。とりわけ今年度の研修会では、四月に導入が迫ったスマートメーターの概要や仕様、取付方法などに特化した内容となりました。

本研修会は実務的な内容が多く、有意義な内容となっておりますので、組合員の皆様には、一年に一度開催されるこの研修会には必ずご出席下さい。

また、特にスマートメーターについてはその仕様や施工方法を熟知され、職場内にて伝達研修を実施し、研修内容を広く周知してくださいますようお願いいたします。

北海道電力(株)函館支店講師の皆様には大変ご多用のところご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

なお、三月中旬に八雲・江差・福島の各支部においても、北電函館支店、北電各営業所の協力を得てスマートメーターに関する研修会が実施されました。



第一回電気工事 技能競技全国大会

平成二十六年十一月二十九日（土）、第一回電気工事技能競技全国大会が東京都両国国技館において開催されました。

道工業組合からは合計一〇二名が参加、当組合としても青年部を含め十名が参加しました。大会は全国より三十名の選手が出場し、明示された課題を三時間で完成させるといふもので、技能競技終了後は学科競技もあり、第二種電気工事士学科試験と同等の問題が十一問出題されました。北海道ブロックとしては札幌電協所属の二名の選手が出場することとなり、本業

の傍ら日夜練習に励んでいたと聞いております。選手は昨年十一月十二日に道電気会館において行われた壮行式にて道工組理事、全道の青年部員が見守る中競技に臨み、緊張とプレッシャーにも慣れ、本大会へ向かったのではないかと思います。

大会においては出場者による前日のオリエンテーションに始まり、大会当日では事前の練習課題から若干変更された課題が明示され出場選手は、開会式、選手宣誓と大会が進行していく中、その課題の攻略に励んでいたものと思います。課題は、出場三十名中十二名が時間内に完成させることができないというボリュームの多いものでしたが、北海道ブロック出場選手の(有)駒澤電気工事の駒澤知三選手が制限時間終了数秒前に完成させ、金賞一名、銀賞二名、銅賞三名、敢闘賞三名、特別賞として設けられた安全作業賞と設定された中、表彰式では見事銅賞に輝きました。大会までの努力が報われ、同じ北海道ブロックとして大変誇らしく、心より敬意を表したいと思います。

平成二十八年十一月には第二回電気工事技能競技全国大会の開催が決定し、その予選として北海道技能競技大会が開催されることとなっております。当組合としてもきたる北海道大会への出場に向け、事業委員会を中心に鋭意準備を進めているところです。

この大会への参加ならびに出場は、業界への理解を深める場としての役割を持っているほか、現在の若年層の技術向上や技術者不足の解消に寄与することにもなり、大会へ継続して参加できる体制を整えたいと考えておりますので、組合員の皆様には、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



北電・ほくでんサービス・組合 検満工事合同安全パトロール

平成二十七年一月二十七日に、北海道電力(株)函館支店配電グループ・ほくでんサービス(株)函館支店技術課・組合による低圧検満計測器取替工事合同安全パトロールを実施しました。北電配電五名・ほくでんサービス一名・組合三名・検満業者三社六名の計十五名で森町二カ所・函館市双見町の計三カ所の現場にて行いました。

パトロール当日は雨天の為、より一層注意しての作業となりました。全社とも無停電装置を使用しての計測器取替工事を行い、全ての作業において確認を繰り返して行い、安全作業に努めていました。

各検満業者現場三カ所においてパトロールを終えた後は、(株)小林電機事務所会議室にて北電配電・ほくでんサービス・検満業者三社・組合での意見交換を行いました。技術面においては高い水準で行われているとの高評価を頂きましたが、工事を行う際に離れる駐車車両の施錠等管理、また取付・取外計器の取扱いの点において、いくつかの指摘がありました。市内に比べ人通りが少ないことから、車両の施錠を怠る点が見られた為、その点については数名からの指摘がありました。



今回の安全パトロールにおいても事故はなく、無事に完了することができました。

検満業者の皆様には、これから作業するにあたって、安全を第一に適正な工事施工をお願いしたいと思います。また指摘された点を含め、工事施工を行うにあたっての作業状況等を改めて見直して頂きたいと思

います。

最後に、四月より導入となりますスマートメーターでの検満工事においては、難解な計測器選定や不慣れた作業になるうかと思いますが、より高いレベルの技術水準を目指し、工事を行って頂きたいと思っています。

北電・組合計測器箱板修繕 工事合同安全パトロール

平成二十五年十月にメーターの箱板修繕工事の際、作業員が作業後の工具運搬中、誤って階段から転落し死亡するという傷ましい事故を受け、箱板取替修繕工事においても北電函館支店、組合による合同安全パトロールの実施を定例化することとしました。昨年に続き二度目となる今回は、平成二十六年十月二十九日に、北電より五名、組合より三名、施工会社三社六名の合計十四名にて函館市海岸町の箱板修繕工事現場三箇所のパトロールを実施しました。当日は施工各社による自己KY実施の後、作業に入りました。施工現場三箇所のうち、一箇所は前述の死亡事故同様、集合住宅における階段のある作業環境ではありましたが、資材、工具の運搬状況も周囲に気を配り再発防止策が励行されていると感じました。

他の二カ所の現場においても独自にセーフティーコーンを使用するなど各社の工夫が見られました。

作業後は、組合会議室において北電、組合、施工会社三社による総評と意見交換が行われました。作業中は指差し呼称や作業者間の声掛けも良く行われ、コーキングの施工状況やゴミの片づけに



至るまでの作業状況及び工事の技術水準においては概ね高評を得ました。水準器の使用状況など施工品質の面において各社若干の差異があり、今後の課題となりました。

組合員の皆様におかれましては、四月からスマートメーターが導入され、箱板取替工事のみならず電設工事全般においても不慣れな作業となりますが、より一層安全に留意され工事に臨んで下さいますようお願い申し上げます。

平成二十七年 主任電気工事士研修会

平成二十七年主任電気工事士研修会が二月六日、ロワジールホテル函館を会場として開催されました。

この研修会は、各事業所の主任電気工事士の資質の向上を目的として隔年で開催され、今回は一六八名が受講しました。

なお、後日受講者に発行された受講証は、電気工業法立入検査の際にご提示を求められる事がありますので大切に保管してください。



主催 北海道電気工業事業工業組合

函館地方電気工事協同組合

講師 北海道産業保安監督部電力安全課

電力安全係長 館小路 順氏

渡島総合振興局産業振興部商工労働観光課

主任 鶴橋 精一氏

北海道電力(株)函館支店配電グループ

副長 市岡 勝弘氏

(財)北海道電気保安協会函館支部

副支部長 高畑 繁氏

二級引込線工事士の認定講習・認定試験実施

平成二十六年年度の引込線工事士認定講習・認定試験が三月十八日に組合会議室において実施され、新たに二十六名が認定されました。

本年度認定者の内訳は次のとおりです。
講習のみによる認定者 十一名
試験合格による認定者 十五名

今回の認定者は、六月頃に開催が予定される『安全技能講習』を受講することにより、はじめて二級引込線工事士の資格を取得することとなりますので、忘れずに受講するようにして下さい。



講師の皆様にはご多用の中、ご尽力下さり、誌上を借りて御礼申し上げます。

講師 北海道電力(株)函館支店配電グループ

副長 市岡 勝弘氏

総括主任 米田 賢一氏

(有)丸伊イトウ電気商会

伊東 照勝氏

(株)進成電機機械工業所

高井 秀昭氏

青年部活動について

平成二十六年十一月二十八日東京都東武ホテルレバント東京において、第一回全国青年部会大会が開催されました。これは電気工業事業全国大会が隔年開催に変わったことにより、技能競技全国大会に合わせ全国の青年部員が集結しようと開催された初めての試みです。

当青年部からも、私中野、作並理事、成田理事とともに三名で参加いたしました。

大会は三部構成となっており、第一部青年部優良活動発表、第二部意見交換会と活動発表表彰式、第三部は懇親会となっております。第一部の優良活動



発表では、全国青年部員の組織に対する意識向上と青年部活動のさらなる活性化を目的として全国九プロックから総数二十五の事業がエントリーされ、そのうち十二の事業が選抜され全国から集まった青年部員の前でプレゼンを行い、優秀な事業を選ぶというものでした。その結果、札幌協青年部の『児童養護施設イルミネーション&ライトアップ事業』が見事最優秀賞に選ばれ、北海道青年部代表として誇らしく思いました。当組合青年部としても、昨年九月二十一日に函館私立幼稚園PTA連合会主催で開催された、『はたらく車大集合！くるま大好き！みんな集まれ！』に高所作業車試乗体験にて参加協力を行った事業が二十五のエントリー事業には選ばれましたが、最終選考の十二の枠からは漏れ、次回開催には選考に残れるよう頑張ろうと奮起したところです。

また、全国青年部会大会の翌日には、第一回電気工事技能競技全国大会が開催され、札幌協青年部の駒澤知三選手が銅賞に入賞しており、電気工事士としてまた同じ北海道の青年部員として胸が熱くなる思いでした。

来年秋に開催される第二回技能競技全国大会やその予選となる北海道大会に向けて親会と連絡を密にし、取り組んでいきたいと考えております。

また、その他の事業では昨年十月二十四日にマリエール函館において、日銀函館支店長沼本奈美様を講師にお招きして研修会を開催し、部員二十三名参加のもと、道南の経済状況について講演いただきました。

全日青年部や道工組青年部の取り組みとして地域や若年層にPR活動を



進めていくこと強化しております。函館青年部として
もこのことを進めていけるよう親会と協議していき
たいと考えておりますので、組合員の皆様におかれま
してもご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

函館地方電気工事協同組合青年部
部長 中野 英

青年部活動

～第四回全道青年部会員大会～

平成二十七年二月二十一日、東京ドームホテル札
幌において、『夢現の大地北海道 共に育む灯るい未
来』というテーマのもと第四回北海道電気工事工業
組合青年部連合会 会員大会が開催されました。

当組合伊東理事長をはじめ、道工組尾池理事長ほか
道工組親組合理事総勢十三名、道工組青年部八十二
名、全日電工連青年部協議会、評議委員十七名、札幌
工業高等学校、札幌琴似工業高等学校、北海道尚志
学園高等学校、教諭、生徒合わせて三十五名、総勢
一四六名の参加規模となった大会になりました。

大会では大会趣旨説明された後、担当の単協によ
る、電気が需要家に届くまでとして発電、送電や実際
携わった道内各地の施工実績等をパワーポイントを作
成し、プロジェクターを用いて説明をしました。続け
て三校の学校発表を聞いてみると、とても幅広い訓練
内容を実践しており、我々の想像をはるかに超える高
度な実習を積んでいる印象を受けました。参加してく
れた三校の生徒、先生方の熱い真剣な思いが伝わっ
てきました。その後休憩を挟み、意見交換会は『今、
必要なのは君たちだ！プロが伝える電気の魅力』とい
うテーマで始まりました。私のテーブルは青年部員七
名、札幌工業高校の生徒一名、教師一名合計九名で行
われました。これから電気工事従事者になるにあた
り、電気工事の未来、就職するうえでの心構え、現場
や営業仕事など活発な意見交換が行われ、迎える側の
青年部員たちも接し方やどう育てていくかなどの活発
な意見が飛び交いました。

引き続きの懇親会では、全日電工連全国青年部

協議会副会長植草宏介氏の乾杯で盛大に催されまし
た。久しぶりに会う仲間達とより一層の絆を深め、恒
例の各単協の紹介、余興では北海道産の食材の早食い
競争と、全日電工連の皆様も喜んでいただいたものと
思います。

最後になりますが、会員大会から懇親会までスムー
ズな進行に敬意を表するとともに、当日までの段取
りに尽力された道工組青年部役員を始め、札幌電協青年
部の皆様大変お疲れ様でした。大変貴重な経験をさせ
て頂いたことをこの場を借りて御礼申し上げます。今
回学んだことを日々の暮らしにも反映させ、ますます
業界全体が発展していくことを祈念して私の寄稿とさ
せていただきます。

函館地方電気工事協同組合青年部
副部長 矢本 剛

組合員の異動

◎ 脱 退

一、香田電気工事店 平成二十七年二月二十日

◎ 支部変更

一、スナハラ電気 北斗市七重浜三丁目十四番二十三号
(新)

(渡島支部)

(旧)

函館市美原二丁目二十一番四号
(北部支部)

お悔やみ

平成二十七年

二月 五日

(株)谷電気工業所代表者ご尊父
吉田正美殿ご逝去

二月十六日

(有)ヤマト電気工業所代表者
江端奨殿ご逝去

三月 八日

(有)丸伊イトウ電気商会代表者ご尊父
伊東昭二郎殿ご逝去

編集後記

阪神淡路大震災から二十年、東日本大震災から四年。
震災時多くの火災が発生した。阪神淡路大震災では、
原因特定できた中で電気機器関連が多くを占めた。電
気機器（電気ストーブ等）を点けたままで避難し、停
電復旧後、不在の建物等で倒れたストーブが作動、傷
ついた電気コードがショート、可燃物に引火し「通電
火災」が発生した。神戸市消防局によると、阪神淡路
大震災では発生後十日間で建物火災が百五十七件発生
し、五十五件が原因特定された。三十五件が電気関係
で三十件が「通電火災」によるものだった。

日本は地震大国、地震防災対策が必要だ。いま、地
震発生時に自動的にブレーカーを切る「感震ブレー
カー」が注目されている。震災時の電気関係火災を防
ぐためにも、設置の普及に関心を持つべきだ。感震ブ
レーカーの種類は感震センサーを内蔵した分電盤型、
コンセント型、他にブレーカーに重り付の紐を取付け、
震度で落下させ遮断する簡易型がある。北海道では二
十七年度からスマートメーターを導入する、その遠隔
開閉機能の活用が考えられるが、震災時に自動的に電
力供給を遮断する機能はない。横浜市では震災時の防
火対策として、「分電盤タイプ」の感震ブレーカーの
設置費を補助する事業を始めた。設置費用八万円（一
〇万円（分電盤タイプで工事費込み）の場合、三分の
二（上限五万円）を補助している。

現在、設置事業を推進している自治体は極めて少な
い。三月九日政府は有識者検討会を開き、今後発生が
予想される首都圏直下型地震や南海トラフ巨大地震へ
の備えとして「感震ブレーカー」の設置を促す報告書
をまとめ、既存の住宅にも設置が広がるよう自治体や
業者に広報や情報提供を行うように要請した。一日も
早い対応を期待したい。

(M, T)

題字 小寺 寛一（第二代理事長）

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集所 総務委員会

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 龍文堂印刷株式会社

あしたの光で “こころよい” を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道電材営業部函館営業所

☎ 040-0001 函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階
TEL 五一一六〇〇二
FAX 五一一六〇〇二四

Panasonic
ideas for life

パナソニック(株)エレクトロニクス社

北海道電材営業所
函館電材出張所

☎ 041-0808 函館市桔梗二丁目二四一六
TEL (〇一一八) 四七一六三三三
FAX (〇一一八) 四七一六二六六

人とあかりの調和を考える

DAIKO

大光電機株式会社

函館事務所

札幌支店 ☎ 064-0804 札幌市中央区南四条西一丁目二二
TEL (〇一一二) 五六一八〇六七
FAX (〇一一二) 五六一八〇九
函館事務所 ☎ 042-0943 函館市乃木町二一
TEL (〇一一三) 八四一六四五〇
FAX (〇一一三) 八四一六七八五



kawamura

河村電器産業株式会社

北海道支店函館営業所

☎ 041-0011 函館市本町六十五 富士火災函館ビル三階
TEL (〇一一三) 七四三六
FAX (〇一一三) 七四三七
北海道支店 ☎ 003-0006 札幌市白石区東札幌六条一丁目一三〇
TEL (〇一一一) 八二二一五三一
FAX (〇一一一) 八二二一五〇四



ISHIGAKI
ハイク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス
石垣電材株式会社

本社 ☎ 060-0006 札幌市中央区北六条西一丁目一番地
(〇一一一) 二一〇一五二二番
函館支店 ☎ 041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三一五
(〇一一三) 四九一六二一一番
八雲営業所 ☎ 049-3104 北海道八雲町内浦町二三四一五
(〇一一三) 六三一三二六九番

未来環境を語る・造る

株式会社 エニヤ

函館営業所

☎ 041-0824 函館市西桔梗五八九一四九
電話 四八一五七五一(代表)
本社 札幌・営業所 釧路 苫小牧 小樽

情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所

☎ 040-0072 函館市亀田町十三番八号
電話 四〇一〇八〇〇
本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路



TANAKA CO., LTD.

電設資材総合卸



株式会社

新光照明

☎ 040-0024 函館市高盛町七番一號
TEL (〇一一三) 五五一一〇六八(代)
FAX (〇一一三) 五五一一〇八〇
☎ 007-0812 札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号
TEL (〇一一一) 七九〇一二五三(代)
FAX (〇一一一) 七九〇一二五三